

第75回 宗像区中学校ソフトテニス大会 ガイドライン

宗像区中学校ソフトテニス専門部

1. 競技規則および競技中の諸注意

- 本試合は、日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」の「競技規則」に準ずる。
- 男子団体戦は、決勝リーグ方式とし、7ゲームマッチとする。女子団体戦は、リーグ・トーナメント方式とし、予選リーグは5ゲームマッチ、決勝トーナメントは7ゲームマッチとする。
- 個人戦は、準々決勝より7ゲームマッチとし、他は5ゲームマッチとする。
- ベンチサイドは、若番が審判台から見て左とする。
- サイドコーチは、チェンジサイズの際にベンチ付近で1分以内に行う。
- 審判は、選手の相互審を原則とする。ただし、女子団体戦・個人戦の準決勝以降の審判は、専門委員が行う。
- 遅延行為を禁止する。プレーヤーの動作に違反があると審判が判断した場合は、プレーヤーまたは監督に注意を促し、それでも改められない場合は警告を宣告するものとする。
- 開会式および閉会式は行わず、表彰は対象選手とその保護者のみ、本部にて行う。
- マナーチェックは、当日に顧問が自校の選手を対象にして行う。違反等があった場合は、監督者会議にて申告するとともに、当該校の校長へ連絡し、出場の可否を協議する。
- 登録選手は二、三年生とする。一年生は、団体戦登録に該当する選手または個人戦登録の補充選手のみにする。

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

<参加選手について>

- 大会当日までに「体調記録表（学校保管用）」に必要事項を記入の上、各校の顧問に提出をする。
- 大会当日の朝、検温および健康観察を行い、「体調確認表（大会当日提出用）」の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
- 体調不良により欠場する選手がいた場合は、自校の一年生を当該ペアに補充する。個人戦は、欠場選手が大会期間中に快復した場合に、欠場選手の参加（変更）は認められない。上位大会（筑前地区）への出場においても、欠場選手の参加（変更）は認められない。
- マスクを着用する。尚、試合中においては、選手・正審・副審はマスクを着用しなくてよい。ベンチ控えの選手はマスクを着用する。
- 会場内では他人との距離を2メートル（最低1メートル）確保する。コート内でもできるだけ2メートル（最低1メートル）を確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにし、ハイタッチや握手は行わない。
- 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列は控える。
- コートに入る際には、必ず消毒を行う。
- 団体戦整列時はベースラインで、各試合前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はサービスラインで行う。また、試合前後の握手は禁止する。

- 試合中は、選手のインプレー中の声出し、ペアへの声かけなどは常に認める。
- 試合後は、勝者がスコアを確認した後、勝利した学校がジャッジペーパーおよび審判道具一式を本部へ提出する（本部で消毒を行うため）。
- 会場到着時・更衣前後・試合前後・食事前後・解散時は手洗いをを行う。
- 用具・用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共有はしない。

<観戦・応援について>

- 全日程において全学年の生徒の参加を認める。ただし、部員数よってはその限りではない。
- 保護者は、当日の参加選手1名につき2名までとする。会場ではマスクを着用する。
- 観戦・応援は、試合に参加する選手の保護者および同学校の選手・コーチが、ベンチサイド後方のフェンス周辺で行うことを認める。他の生徒および保護者はフェンス周辺には集まらないようにする。
- 観戦をする際は、密な状態にならないように間隔をとり、マスクを着用する。
- 拍手による応援を主とし、声援は控えるようにする。

<会場使用上の諸注意>

- 各会場のトイレ等を利用し、こまめな手洗いに努める。ただし、一度に入室する人数が多くなならないように注意する。
- 会場に設置されている消毒液（または個人の消毒液）で、手指消毒をする。
- 飲食物の提供時、参加者が同じトングを使用したり、コップの共有、使い回ししたりしないように注意する。
- 飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。
- ゴミは、各選手・保護者が持ち帰るものとする。
- 会場内における喫煙および唾、痰を吐く行為を禁止とする。

<専門部員について>

- 大会に参加するすべての者（選手、監督、コーチ、保護者、専門部員）の検温を実施する。
- 大会当日の朝、選手の検温および健康観察を行い、「体調確認表（大会当日提出用）」を宗像区専門部長に提出する。
- 手洗い場に石けんを準備するとともに、丁寧な手洗いの方法に関する資料を提示する。
- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）や、共有物（試合球、審判道具、コートブラシ等）については、こまめに消毒する。

3. 熱中症対策について

- 生徒は原則として帽子をかぶることとする。
- チェンジサイズおよびチェンジサービス時（ファイナルゲームを含む）の給水を認める。
- 選手の塩分タブレットの補給を認める。ただし、菓子類は認めない。また、補給は待機時および応援時のみとし、競技中は認めない。
- 応援生徒の日傘の使用を認める。ただし、銀色・白色など反射する色は不可。また、日傘を使った応援は認めない。

